



冬



水路補修・沼浚い



土づくり



畔の補強



秋



収穫

農家の地縁的な結びつきにより作業が行われます。

反復水は、排出した水を用水として再利用する方法。番水は、水田の区域を分けて1日おきや、昼夜交代や、時間で順次移行するなど順番で水を引く水利用の方法です。



春



冷害に強い苗づくり

保温折衷苗代



渇水対応

反復水、番水



水温を活かした冷害対策

深水管理

ぬるめ水路



洪水対応

遊水地



夏



水路の江払い

「江払い」は用水路の泥をかき出したリ清掃したりする作業です。

巧みな水管理による水田農業は、生きものとの共生関係もつくっています。水田は毎年越冬のために渡ってくるマガンのえさ場となります。作物の害虫を捕食するカエルやクモ、トンボなども居久根や田んぼで命を育んでいます。他方で、米の価格の低迷とともに、農薬・化学肥料の高騰、農家の高齢化、担い手不足から、農業の維持が危ぶまれています。これに対して、生態系を活用した有機栽培米などの生産や、6次産業化を図り、産地と消費者との交流を通じた新たな流通の仕組みづくりを進めています。

### ◆ おおさきこうど 大崎耕土が育む食文化

冷害や洪水へ対策する努力を続けながら、米・麦・大豆の三大穀物、地域特有の伝統野菜など多くの農産物を生産してきました。これらの豊かな原材料をもとに、味噌や日本酒など県内有数の発酵食品産地として豊かな食文化が育まれています。

#### 豆知識 伝統野菜「上伊場野里芋」

おおさき 大崎市三本木地域の上伊場野地区のみで生産される幻の里芋です。粘りが強くねっとりとした食感が特徴で、この地域での栽培でしか味わえない貴重な伝統野菜です。



考えよう!

どうして「居久根」は主に家の北西側を囲うように“コの字型”につくられているのかな?

